

警戒レベル	発令基準	全体	駐在員		現地従業員／家族	重要継続業務	一般業務
			本人	家族			
警戒レベル0	平時	在外公館との情報交換 在外公館との緊急時連絡方法の確認 緊急支援依頼先の確認 緊急支援依頼先との緊急時連絡方法の確認 緊急時避難場所の確認 緊急時食料・水の確保 衛星携帯電話の確保 有事の際の休日扱いルールの検討	緊急連絡網と連絡方法の確認 安否確認方法の構築と訓練 (韓国内、日本と駐在員) 緊急時帰国方法の確認 家庭用非常用備品の確保	駐在員本人と家族の緊急連絡手段・方法の確認	緊急連絡網と連絡方法の確認 家族との連絡手段・方法の確認 安否確認方法の構築と訓練 疎開希望者への対応方法決定 家庭用非常用備品の確保 (特に乳幼児用品、特別食、常備薬等に注意)	重要業務の選定 代替拠点の選定と手段の確認 BCP要因の選定と訓練	
警戒レベル1	重大な緊張状態	危機発生時対応の確認	帰国もしくは疎開準備	帰国準備もしくは帰国			
警戒レベル2	一部地域(北朝鮮を含む)で戦闘行為発生	追加備蓄品の購入 対策本部への定期連絡	帰国もしくは疎開準備 安否確認	帰国	疎開先の確保 家族の疎開／準備 状況に応じた出社／待機指示 連絡 安否確認	代替拠点による重要業務の対応開始	安全が確保できる可能な範囲で継続
警戒レベル3	戦闘行為は一部地域のみだが拡大の可能性が高い	対策本部への定期連絡	帰国もしくは疎開 (原則は帰国) 毎日安否確認の実施		疎開を推奨 毎日安否確認の実施	代替拠点による重要業務の対応	安全が確保できる可能な範囲で継続
警戒レベル4	本格的な戦闘状態、都市部での戦闘行為	対策本部への定期連絡	確実な安全確保 毎日安否確認の実施		毎日安否確認の実施	安全を確保できる状態であれば、代替拠点による重要業務の対応	休業
沈静化	韓国内で戦闘行為は行われておらず、鎮静に向かっていると思われる状態	対策本部への定期連絡 災害対策本部との相談	日本国内もしくは疎開先で 情報収集と状況判断 状況を確認しつつ職場復帰		十分な情報を入手し、状況を判断しながら対応 緊急連絡網を活用した指示	状況を確認しながら業務再開	
警戒解除	紛争が終結し、安全が確認された状態	災害対策本部から警戒態勢解除	通常業務		復興準備／完全帰宅	通常業務	

※警戒レベルは現地からの情報を元に危機管理室で決定する。
 ※対策本部は警戒レベル2で設置し、警戒レベル解除の後解散する。